

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	HIYOKO MUSIC富沢教室（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和7年 5月 19日		～	令和7年 5月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数)	23名
○従業員評価実施期間	令和7年 6月 1日		～	令和7年 6月 10日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 6月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・おたよりや日々の連絡ツールを用いた保護者様との情報共有が出来ている。	・毎月のおたよりでは音楽療育のプログラムの紹介や、活動の様子を写真にて共有するなど、見て分かりやすいものを意識して作成している。	・職員間で連絡内容や活動の様子の伝え方などが統一されていない部分もあるため、まずは職員間で共有を行い安定した情報共有を行って参ります。

2	・職員増員による、支援の厚みを増すことができている。	・保育士や放課後等デイサービス経験のある職員の増員により、より個々に合わせた支援を行うことが出来ている。	・職員間でさらに協力体制を取ることが出来るよう、声を掛け合いながら全職員が高いレベルで支援することが出来るよう、専門的な研修や情報共有を行って参ります。
3	・プログラムの更新が毎月されている。	・活動が固定化しないよう、他事業所と連携を取りプログラムの組み立てや共有を行っている。	・どの事業所でも同じレベルで支援が出来るよう、定期的な情報共有や音楽療育の練習会などを行い、安定した支援が出来るよう取り組んで参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別の支援をするにあたって、個室が確保されていない。	・支援室に限りがあることや、必要な物品(パーテーション、静かに過ごせるグッズ等)が揃っていない。	・いつでも個室として使うことが出来るよう、部屋を確保することや、パーテーションなどを用いて空間を仕切る等の工夫をして参ります。
2	・室内での活動が主であるため、社会資源との交流が無い。	・室内プログラムを行っているが、それ以外の外活動として企画することが出来ていない。	・休日や長期休み等に外出企画を職員間で検討し、実施できるよう整えて参ります。

3			
---	--	--	--